



元気なうちから知っておきたい!

高齢者の在宅療養

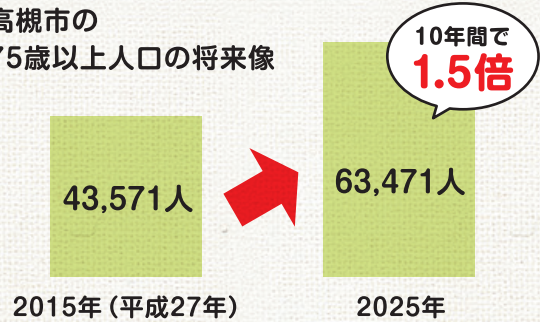
～ いくつになっても、自分らしく暮らすために ～

近年、高齢化が進む中、厚生労働省の調査によると、終末期の療養場所について約60%の人が「自宅で療養したい」と望んでいるそうです。人生の最期まで“自分らしく過ごす”ために、どのような準備をしていけば良いかなどについて、日頃から考えておくことが大切です。

2025年に向けて 後期高齢者が急増

2025年には、人口の多い「団塊の世代」がすべて75歳（後期高齢者）となり、2015年と比較して後期高齢者の人口が1.5倍に増加することが見込まれ、自宅等において医療や介護を必要とする高齢者の急増が予測されます。

高槻市の
75歳以上人口の将来像

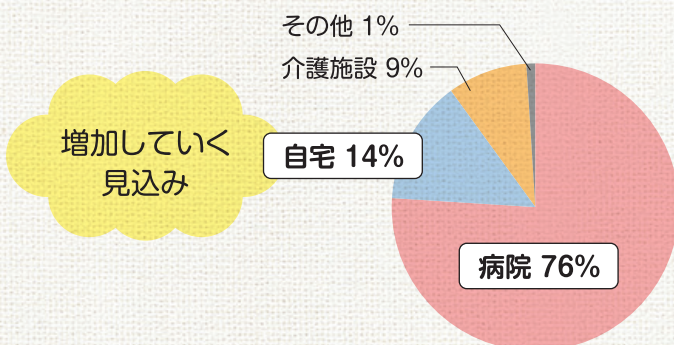


参考：高槻市統計(平成27年10月1日現在)、
高槻市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

高齢者の療養場所は、病院から「自宅等」へ

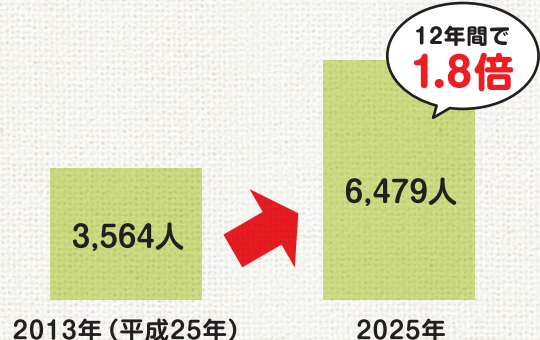
特に、在宅医療等の医療需要については、大阪府医療計画において1.8倍に増加すると推計されています。そのようなことから、現状では約8割の方が病院で看取られていますが、今後、自宅等で最期を迎える方が多くなると見込まれています。

高槻市民の死亡場所の割合(現在)



参考：厚生労働省人口動態調査 2017年(平成29年)

高槻市民の在宅医療等の将来需要



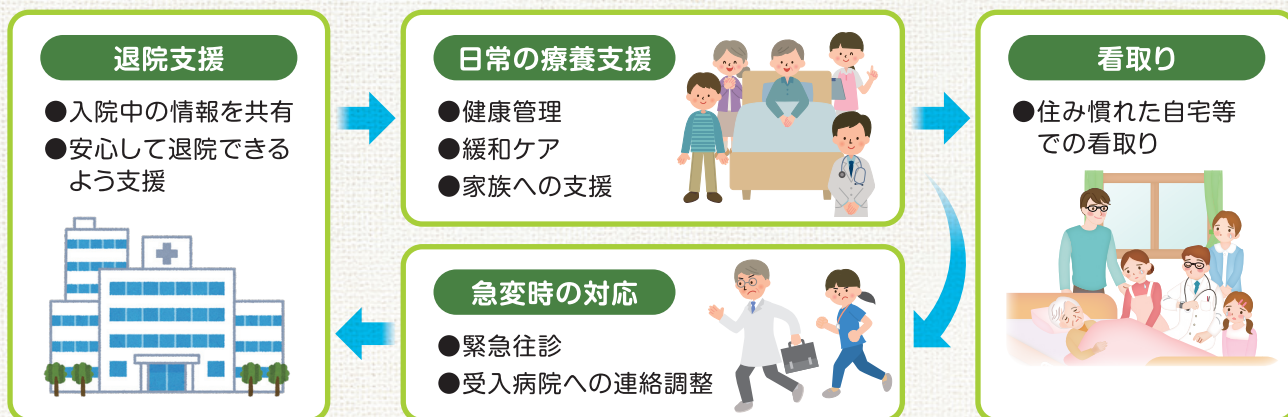
参考：大阪府医療計画(地域医療構想)

在宅医療をご存知ですか？

「在宅医療」とは、通院が困難となった際に、自宅などの生活の場に医師や看護師などが定期的に訪問し、診療や治療、処置などの医療行為を行うことです。

在宅医療は、「退院支援」、「日常の療養支援」、「急変時の対応」、「看取り」の4つの場面に分けられます。

【在宅医療の提供体制（イメージ）】



まずは、お住まいの地域で、かかりつけを持ちましょう

“かかりつけ医”に普段から継続的に診てもらっておくと、一人ひとりの体質や病歴・薬の処方歴などの情報が蓄積されるため、患者の状況を総合的に診断した上で、個々人に応じた健康管理や在宅療養支援を受けることができます。

なお、歯科医師や薬剤師も同様に、これまでの治療経過や薬の処方歴などがわかっている“かかりつけ”を持っておくことが大切です。



在宅医療や介護のことをもっと知りたいときは、

「たかつき在宅療養安心ガイドブック」をご覧ください

高槻市ホームページからダウンロードできます

編集・発行／高槻市健康福祉部保健所健康医療政策課 電話 072-661-9330

